

設樂勇氣さん（電気情報工学専攻・博士前期課程1年）が電子情報通信学会のコミュニケーションクオリティ研究会で奨励賞を受賞しました

平成27年7月6日から7月7日に、奈良先端科学技術大学院大学（奈良県生駒市）で行われた電子情報通信学会のコミュニケーションクオリティ研究会において、大学院自然科学研究科電気情報工学専攻情報工学コース・博士前期課程1年の設樂勇氣さんの研究発表が2014年度コミュニケーションクオリティ研究会奨励賞を受賞しました。

本賞は、電子情報通信学会のコミュニケーションクオリティ研究会において発表された技術報告の中から、35歳以下の若手研究者を対象に毎年優れた発表2～3件が選定して表彰される賞であります。本研究は、ユーザが日頃使用する携帯形端末上のアプリケーションの使用状況より、ユーザの生活パターンを把握するもので、実際のユーザ使用データより日常的使用と非日常的使用に分類できることを示しました。この結果を用いて、ユーザの生活パターンに応じた端末やネットワークの資源配分を行っていくことを目指しています。

発表者：設樂勇氣（新潟大学大学院自然科学研究科・博士前期課程1年）、

（指導教員：山崎達也 教授）

演題名：「ユーザの生活パターン把握のためのアプリ使用状況モニタリングの研究」

リンク：http://www.ieice.org/~cq_ac/jpn/award/syorei.html

